

NPO／特定非営利活動法人

放送批評懇談会

第 10 回通常総会議事録

第一号議案 議長の選任

第二号議案 放送批評懇談会 2013 年度事業報告

第三号議案 放送批評懇談会 2013 年度収支決算

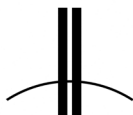
第四号議案 放送批評懇談会第 10 期 11 期役員

第五号議案 放送批評懇談会 2014 年度事業計画

第六号議案 放送批評懇談会 2014 年度収支予算

放送批評懇談会

2014年6月14日



NPO放送批評懇談会

第10回通常総会 2014

特定非営利活動法人放送批評懇談会

<第10回通常総会>

■開催日 2014年6月14日

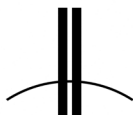
■会場 新宿3丁目会議室 401-A

■会 勢 <正会員>
192名 (入会11名、退会14名)
<維持会員>
140社 (入会3社)

■出席者 28名
秋吉淳一郎 安部 裕 飯田みか 石井 彰
市村 元 碓井広義 太田省一 岡室美奈子
音 好宏 茅原良平 五井千鶴子 上滝徹也
小林 毅 桜井聖子 嶋田親一 鈴木典之
滝野俊一 田中典子 中島好登 中町綾子
丹羽美之 橋本 隆 稗田政憲 藤田真文
藤久ミネ 古川柳子 堀木卓也 矢後政典

■委任状提出者 89名

■出席予定者と委任状提出者で計117名



NPO放送批評懇談会

第10回通常総会 2014

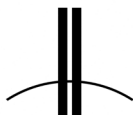
第一号議案 議長の選任

定款第27条「総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する」の規定に則り、出席の正会員のなかから、「堀木卓也氏」を合議により選出。

第二号議案

放送批評懇談会

2013 年度事業報告



2013年度総務事業報告

1. 50周年記念事業

50周年委員会をバックアップし、50周年の各事業に取り組みました。

2. 志賀信夫賞の選考

第5回志賀信夫賞の選考を行いました。正会員による候補者推薦を受け、選考委員会で選考を行い、演出家・プロデューサーの石井ふく子さんを選出し、6月4日第51回ギャラクシー賞贈賞式で賞状と盾をお贈りしました。

選考委員会：

音 好宏(委員長) 橋本 隆 上滝徹也 小田桐 誠 藤田真文

3. 就業規則の改定

職員の「労働時間」規定を改め、「基準外賃金」の定めを新設しました。また、契約職員、パートタイム職員の就業に関する規則を刷新しました。

4. 正会員会費期間の変更

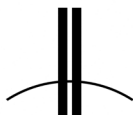
正会員会費は、入会月から1年間請求の制度を採ってきましたが、これを改め、会の会計年度(4月～翌3月)にそろえる作業を行いました。

5. 第14回「日韓中テレビ制作者フォーラム無錫大会」

2013年10月14日～17日、中国無錫で開催された、第13回大会「日韓中テレビ制作者フォーラム無錫大会」の実行に、放送人の会、放送番組センターとともにあたりました。この大会に正会員1名を派遣し、大会の成功に寄与しました。

6. 「清水英夫さんを語る夕べ」への協力

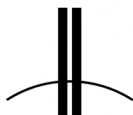
2013年6月19日、名誉会長の清水英夫さんが死去されました。10月21日、放送批評懇談会など故人が関わりの深か



NPO放送批評懇談会

第10回通常総会 2014

った複数団体が協力して、「清水英夫さんを語る夕べ会」を、青学会館アイビーホールで執り行いました。放送批評懇談会からは、清水英夫さんの『GALAC』連載「少数異見帳」冊子を作成して参加者に配布しました。費用は当日の会費で賄いました。



NPO放送批評懇談会

第10回通常総会 2014

2013年度出版編集事業報告

1. 昨年度は下記のメンバーで運営しました。

委員長 飯田みか
副委員長 川喜田 尚
委員 隈元信一 古賀靖典 鈴木健司 高瀬 毅
高野美穂 田川義博 仲宇佐ゆり
原由美子 渡辺久哲
編集スタッフ 中島好登 福島美子 古賀佳子 他

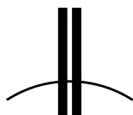
2. 毎月6日に『GALAC』を発行しました。

1) 特集テーマは以下のとおりです。

2013年10月号 検証！ 地デジ化の成功度
2013年11月号 何が魅力？ BSテレビのCM市場
2013年12月号 今年のドラマは熱かった
2014年1月号 危ない！ 特定秘密保護法案
2014年2月号 岐路に立つラジオの未来を描く
2014年3月号 就職・採用に異変あり!？
2014年4月号 「時代劇」は新たな視聴者をつかめ
2014年5月号 安倍政権と放送メディア
2014年6月号 バラエティの時代感覚
2014年7月号 決定！ 第51回ギャラクシー賞
2014年8月号 続報！ 第51回ギャラクシー賞
2014年9月号 がんばれ！ NHK（仮題）

2) 発行部数は約4000部前後で推移しました。

3) インターネットのニュースサイト「goo ニュース」と「@nifty ニュース」に一部記事を配信しました。



2013年度選奨表彰事業報告

1. 本年度は下記の委員の構成で運営しました。

選奨事業委員長 藤久ミネ

＜テレビ部門委員会＞

委員長 丹羽美之

副委員長 中町綾子

委員 岡田芳枝 河野尚行 滝野俊一 戸田桂太
桧山珠美 藤久ミネ 古川柳子 水島宏明
宮崎美紀子

＜ラジオ部門委員会＞

委員長 桜井聖子

副委員長 石原信和

委員 池本孝慈 茅原良平 近藤倫章 紺野 望
武田三千代 塚本 茂 原 きよ ペリー荻野
松浦正和 柳瀬博一 山本 索

＜CM部門委員会＞

委員長 五井千鶴子

副委員長 稗田政憲

委員 秋吉淳一郎 小川幸子 河合良文 草川 衛
田家秀樹 田中秋夫 谷岡理香 千葉健吉
本庄雅之 山家誠一

＜報道活動部門委員会＞

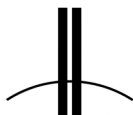
委員長 鈴木嘉一

副委員長 市村 元

委員 稲塚秀孝 小原道雄 加来由子 兼高聖雄
河邑厚德 福島俊彦 堀川恵子 堀木卓也
宮前周司

選奨事業委員会担当事務局 福島美子

2. 第51回ギャラクシー賞各部門の選考のため、以下の作業を行いました。



<テレビ部門委員会>

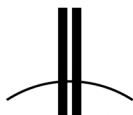
- ・2013年4月から2014年3月まで、毎月選考会を開き月間賞4本を選びました。
選考結果を『GALAC』誌上に月間賞選評および番組短評一覧として発表しました。毎月20日を情報解禁日とし、月間賞の選考結果をプレスリリースしました。
- ・2013年9月13日から30日、10月10～20日に第51回上期自薦作品142本を視聴。10月28日、月間賞（23本）と自薦作品の中から上期入賞作品7本を選出しました。
- ・2014年3月13日から30日、4月9日～14日に、第51回下期自薦作品145本を視聴。4月22日、月間賞（23本）と自薦作品の中から下期入賞作品7本を選出しました。同時に特別賞、個人賞も選びました。

<ラジオ部門委員会>

- ・2013年4月から2014年3月まで、毎月ラジオ委員会を開催してラジオについての合評を行いました。
- ・2013年10月、第51回上期38本の自薦作品を聴取し、10月21、29日に各部門の上期候補作品を選出。
- ・2014年4月、下期25本の自薦作品を聴取し、4月17、18日に各部門の下期候補作品を選出。
- ・4月21日、上期下期をあわせた候補作品の中から入賞作8本を選出し、DJパーソナリティ賞も選出しました。
- ・2013年12月1日にTBSセミナー室で「入賞作品を聴いて、語り合う会」を開催しました。

<CM部門委員会>

- ・2013年4月から2014年3月まで、毎月委員会を開催してCMについての合評を行いました。
- ・2013年10月30日、上期127本の自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出。
- ・2014年4月19日、下期117本の自薦作品を視聴し、13



本の候補作品を選出。

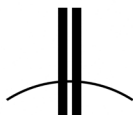
上期下期合わせた中から13本の入賞作品を選出しました。

<報道活動部門委員会>

- ・2013年10月26日、上期6本の自薦作を視聴し、3本の候補作を選出。
- ・2014年4月20日、下期18本の自薦作を視聴し、7本の候補作を選出。
上期下期合わせた中から6本の入賞作を選出しました。
- ・『GALAC』連載ページを委員が分担し、全国各地における報道活動の紹介、各局報道活動への期待、特定のテーマに関する報道活動についての論考などを執筆しました。
- ・2013年11月9日、公開シンポジウム「ギャラクシー賞受賞報道活動を見て、制作者と語る会」第6回を、日本大学芸術学部放送学科との共催で実施しました。

3. 2014年6月4日（水曜日）、ウェスティンホテル東京ギャラクシールームにて「第51回ギャラクシー賞贈賞式・懇親会」を開催しました。なお、実行プロジェクトメンバーは次のとおりです。（入江たのし／中島好登）

出席者は報道陣、スタッフも含めて、約720名でした。



2013年度企画開催事業報告

1. 2013年度の企画事業委員会は、下記の委員で構成しました。

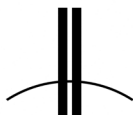
委員長	碓井広義
副委員長	入江たのし
委員	安斎茂樹 内田雄一 兼高聖雄 永田俊和 中平良磨 藤田高弘

2. 2014年3月4日（火）、海運クラブ 2階ホールで放送批評懇談会シンポジウム2014「再発見！クリエイティブパワー」を開催しました。このシンポジウムでは、放送のクリエイティブな力を論じ、ジャーナリズムの自覚を新たにし、ローカルでの使命を考え、ビジネスとして成功することで放送の自立を目指すために、4人のキーパーソンを招き、4つの連続講演を行いました。

【講演】

「いま、クリエイティブに求められるもの」
是枝裕和（映画監督・テレビディレクター）
「放送ジャーナリズムの自律と自覚」
森 達也（作家・映画監督）
「僕がローカルにこだわり続ける理由」
鈴井貴之（俳優・映画監督・放送作家）
「WOWOWのチャレンジ～VISION2020」
橋本 元（WOWOW常務取締役）

今回のシンポジウムでは、連続講演という新たな形式にトライしました。それぞれの講演から刺激的な知見を得られたという感想がある一方で、これまでのようにパネルディスカッションによる意見交換を聞いてみたかったという声もありました。参加者は133名で、約40万円の赤字が出たことを報告させていただきます。



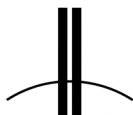
NPO放送批評懇談会

第10回通常総会 2014

2013年度マイベストTV賞

プロジェクト事業報告

1. 以下のメンバーで運営しました。
プロジェクトリーダー 滝野俊一
メンバー 石橋さや夏 永田俊和 桧山珠美
事務局 中島好登
2. Web会員の登録者は8832名(2014年6月11日現在)。
女性が8294名と94%を占めています。
3. 投票を活発化させるために、月間投票とは別に「深夜番組」の特別投票を実施しました。
4. 第8回「マイベストTV賞グランプリ」が決定しました。
Web会員8098名に放送批評懇談会の正会員194名が加わり、グランプリの投票にあたりました。
グランプリは、2013年4月度から2014年3月度まで投票によって毎月決められたノミネート作40本の中から、最大5本までを投票するという方法で決められ、811票を獲得した「24時間テレビ ドラマスペシャル『今日の日はさようなら』」(日本テレビ)が栄誉に輝きました。
また、投票されたWeb会員の中から1組2名を、プレゼンターとしてギャラクシー賞贈賞式に招待しました。贈賞式では日本テレビのプロデューサーが登壇し、トロフィー、賞状を受け取りました。
5. 「マイベストTV君」のアカウントで、ツイッターを2013年12月10日より開始しました。



2013年度50周年委員会事業報告

1. 2013年4月の放送批評懇談会創立50周年を記念する事業を、推進しました。

2. 下記の委員で構成しました。

委員長 藤田真文

副委員長 橋本 隆

委員 入江たのし 川喜田 尚 小林 毅 小林英美
嶋田親一 滝野俊一 深川 章

3. 以下の50周年記念事業を実施しました。

① 記念出版

＜放送批評論文集＞

編集長：藤田真文 編集委員：小林 毅 小林英美 深川 章

『放送批評の50年』（学文社）を刊行し、50周年記念式典・第50回ギャラクシー賞贈賞式で記念品として配布しました。（印刷部数2000、発行日2013年6月3日）。

＜ギャラクシー賞記録＞

担当 深川 章

『ギャラクシー賞第41回～第50回』（非売品）を刊行しました。維持会員、正会員に配布しました。

（印刷部数1200、発行日2013年12月24日）

② ギャラクシー賞トロフィー刷新

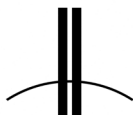
担当 橋本 隆

第50回ギャラクシー賞からトロフィーを「バードマン」（デザイン：松永真）に一新するとともに、賞状も刷新しました。

③ ギャラクシー賞データベース

担当 川喜田 尚 滝野俊一

ギャラクシー賞データベースを開設し、ウェブ上で一般公開しました。（2013年6月3日正午オープン）



- ④ 第50回ギャラクシー賞贈賞式、放送批評懇談会創立50周年記念式典

担当 入江たのし 嶋田親一

2013年6月3日、第50回ギャラクシー賞贈賞式および放送批評懇談会創立50周年記念式典を企画・実行しました。

- ⑤ 50周年記念イベント「ギャラクシー賞が見つめたテレビ、ラジオ、CM」

2013年6月22日・23日・29日・30日、千代田放送会館にて放送批評懇談会創立50周年記念イベント「ギャラクシー賞が見つめたテレビ、ラジオ、CM」を実施しました。参加者は延べ630名でした。

第三号議案

放送批評懇談会

2013 年度収支決算

収 支 計 算 書

2013年4月1日～2014年3月31日まで（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異
I. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	3,000,000	2,257,604	742,396
維持会費収入	41,500,000	41,530,000	△ 30,000
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	30,000,000	32,580,812	△ 2,580,812
企画開催事業収入	2,500,000	1,535,000	965,000
40周年記念収入			0
3. その他の収入			
出版編集事業収入	4,000,000	4,812,026	△ 812,026
広告料収入	5,000,000	4,997,100	2,900
4. 雑収入			
受取利息	0	15,410	△ 15,410
当期収入合計	86,000,000	87,727,952	△ 1,727,952
II. 支出の部			
1. 事業費			
選奨費	7,000,000	6,258,763	741,237
式典費	10,500,000	10,569,346	△ 69,346
企画開催費	2,000,000	1,881,113	118,887
原稿料	7,000,000	6,835,698	164,302
編集費	4,000,000	4,198,431	△ 198,431
雑誌印刷費	16,650,000	16,794,912	△ 144,912
発送費	1,700,000	1,687,470	12,530
2. 管理費			
給料手当	13,700,000	13,495,900	204,100
人件費	8,000,000	5,709,663	2,290,337
法定福利費	1,800,000	2,543,439	△ 743,439
福利厚生費	200,000	228,308	△ 28,308
旅費交通費	700,000	709,170	△ 9,170
通信費	850,000	868,632	△ 18,632
資料費	850,000	831,403	18,597
会議費	350,000	266,859	83,141
水道光熱費	350,000	365,313	△ 15,313
事務用品費	100,000	129,319	△ 29,319
消耗品費	400,000	383,081	16,919
備品費	500,000	456,249	43,751
諸印刷費	800,000	578,100	221,900
広報費	1,100,000	683,555	416,445
支払手数料	230,000	223,116	6,884
賃借料	4,260,000	3,915,339	344,661
保険料	500,000	511,440	△ 11,440
交際費	100,000	130,704	△ 30,704
雑費	1,000,000	762,275	237,725
諸会費	120,000	115,644	4,356
租税公課	90,000	140,000	△ 50,000
退職給付引当金繰入	1,000,000	1,000,000	0
予備費	150,000	0	150,000
当期支出合計	86,000,000	82,273,242	3,726,758
当期収支差額	0	5,454,710	△ 5,454,710

50周年特別会計 収 支 計 算 書

2013年4月1日～2014年3月31日まで（単位：円）

科目	2013予算	決算額	差異
I. 収入の部			
志賀基金取崩益	24,860,000	21,606,108	3,253,892
当期収入合計	24,860,000	21,606,108	
II. 支出の部			
論文集出版	2,600,000	2,717,773	△ 117,773
ギャラクシー賞50年史	2,500,000	1,355,323	1,144,677
データベース	800,000		800,000
トロフィー刷新	2,250,000	1,867,654	382,346
贈賞式（拡張分）	8,560,000	7,874,240	685,760
関連イベント	8,150,000	7,791,118	358,882
当期支出合計	24,860,000	21,606,108	3,253,892
当期収支差額	0	0	0

貸 借 対 照 表
2014年3月31日現在(単位:円)

科目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	34,958,600		
未収入金	3,457,100		
所有物	286,625		
前払金	31,500		
流動資産合計		38,733,825	
2. 固定資産			
賃借権利金等	161,202		
差入保証金	4,099,500		
特定資産			
志賀基金	68,038,454		
退職給付引当金	22,104,068		
固定資産合計		94,403,224	
資産合計			133,137,049
II. 負債の部			
未払金	7,142,375		
前受金	2,190,000		
預り金	379,579		
退職給付引当金	22,104,068		
負債合計			31,816,022
III. 正味財産の部			
志賀基金	100,000,000		
その他の正味財産	1,321,027		
正味財産合計			101,321,027
(うち基本金)			0
(うち当期正味財産増加)			-16,151,398
負債及び正味財産合計			133,137,049

正味財産増減計算書

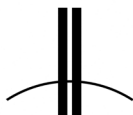
2013年4月1日～2014年3月31日まで (単位:円)

科目	金 額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
現金預金増加額	3,320,061		
未収入金増加額	349,600		
賃借権利金増加額	128,961		
2. 負債減少額			
未払金減少額	1,136,036		
前受金減少額	135,000		
預り金減少額	415,387		
増加額合計		5,485,045	
II. 減少の部			
1. 資産減少額			
特定資産減少額	20,598,429		
前払金減少額	38,014		
2. 負債増加額			
退職給付引当金増加額	1,000,000		
減少額合計		21,636,443	
当期正味財産増加額			-16,151,398
前期繰越正味財産額			117,472,425
期末正味財産額			101,321,027

第四号議案

放送批評懇談会

第 10 期 11 期役員



NPO放送批評懇談会

第10回通常総会 2014

放送批評懇談会 第10期11期役員

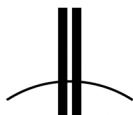
- 理事長 音 好宏
副理事長 橋本 隆 (選奨事業委員会ラジオ部門委員長)
専務理事 藤田真文 (総務担当)
常務理事 川喜田尚 (企画事業委員長)
飯田みか (出版編集委員長)
丹羽美之 (選奨事業委員会テレビ部門委員長)
理事 藤久ミネ (選奨事業委員長)
稗田政憲 (選奨事業委員会CM部門委員長)
鈴木嘉一 (選奨事業委員会報道活動部門委員長)
滝野俊一 (マイベストTV賞プロジェクトリーダー)
石井 彰
市村 元
入江たのし
碓井広義
小田桐誠
茅原良平
上滝徹也
小林 毅
坂本 衛
桜井聖子
嶋田親一
古川柳子
水島宏明
山田健太
中島好登 (事務局長)

監事 隈部紀生
鈴木典之

第五号議案

放送批評懇談会

2014 年度事業計画

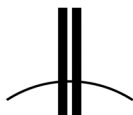


NPO放送批評懇談会

第10回通常総会 2014

2014年度総務事業計画

1. 志賀信夫賞
第6回の選考、表彰を行います。
2. 正会員の加入促進
正会員の加入促進に努めます。正会員の増員によって会の基盤を強め、より多彩な活動を支えます。
3. 維持会員の加入促進
維持会員の増員によって会の財政基盤を強めることを目指します。
4. 広報の強化
ホームページの拡充に努めます。放送批評懇談会のイメージアップのため、広報活動を行います。
5. ギャラクシー賞データベース
「ギャラクシー賞データベース」の管理運営に当たります。
6. マイベストTV賞
マイベストTV賞プロジェクトに協力して、賞の管理運営に当たります。
7. 第14回「日韓中テレビ制作者フォーラム・横浜大会」
2014年9月に開催される第14回大会「日韓中テレビ制作者フォーラム・横浜大会」の実行に、放送人の会、放送番組センターとともにあたります。
正会員、事務局員を派遣して、大会の成功に寄与します。



NPO放送批評懇談会

第10回通常総会 2014

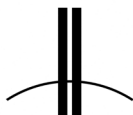
2014年度出版編集事業計画

1. 本年度は下記のメンバーで運営します。

委員長	飯田みか			
副委員長	水島宏明			
委員	氏家夏彦	木村幹夫	隈元信一	鈴木健司
	田川義博	内藤圭介	仲宇佐ゆり	
	藤田高弘	柳川素子		
編集スタッフ	中島好登	福島美子	古賀佳子	内藤圭介

2. 毎月6日に『GALAC』を発行します。本年度の運営方針は以下のとおりです。

- 1) 番組、CMはもとより、制度や環境なども含む、放送に関わる事象全般を対象にした批評を通じて、放送文化の発展・向上に貢献する雑誌を目指します。
- 2) 特集・連載・選奨委員会のページの3本柱で構成し、放送コンテンツの作り手・送り手・受け手にアピールすることを目指します。
- 3) 激変する視聴実態やメディア環境を踏まえ、時代に応じた新しい企画を立て、書き手を発掘し、誌面の活性化を図ります。
- 4) 選奨事業委員会や企画事業委員会とも連携しながら、イベントや出版と連動した誌面展開を考えます。
- 5) 発行部数は引き続き約4000部を見込みますが、コンテンツの工夫や潜在的な読者へのリーチを試み、増部数を目指します。
- 6) 記事提供を行なうポータルサイトなど、ネットの利用をさらに進め、新規購読者の獲得を図ります。



2014年度選奨表彰事業計画

1. 2014年度は下記の委員構成で運営します。

選奨事業委員長 藤久ミネ

＜テレビ部門委員会＞

委員長 丹羽美之

副委員長 古川柳子

委員 出田幸彦 岩根彰子 太田省一 岡田芳枝
岡室美奈子 河野尚行 滝野俊一 藤久ミネ
水島宏明 宮崎美紀子

＜ラジオ部門委員会＞

委員長 橋本 隆

副委員長 茅原良平

委員 池本孝慈 鵜飼一嘉 五井千鶴子 末田倫子
永須智之 松浦正和 松本しのぶ 三原 治
山本 索

＜CM部門委員会＞

委員長 稗田政憲

副委員長 碓井広義

委員 秋吉淳一郎 小川幸子 草川 衛 汲田亜紀子
千葉健吉 服部千恵子 桧山珠美 山家誠一
横川紀子 吉江一男 若尾一彦

＜報道活動部門委員会＞

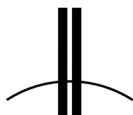
委員長 鈴木嘉一

副委員長 山田健太

委員 稲塚秀孝 岩崎信道 小原道雄 河邑厚德
田中早苗 谷岡理香 旗本浩二 福島俊彦
矢後政典 横山隆晴

選奨事業委員会担当事務局 福島美子

2. 第52回ギャラクシー賞（2014年度）の審査、ならびに贈賞式を行います。



3. 2014年度の運営方針は以下のとおりです。

昨年度は、テレビ部門の応募作品数が287本と過去最多数に達したこと、またラジオ部門の創造的挑戦、CM部門の完成度の高さ、報道活動部門のユニークな地域活動の発掘など、各部門ともに実り多い一年間でした。メディア状況は厳しさを増しているかに見えますが、各部門ともに討議と研鑽をさらに重ねていく所存です。

1) テレビ部門委員会の運営

①あらゆる科学・文化・芸術が活発な批評活動によって発展・向上してきたように、テレビ文化やテレビ・ジャーナリズムが発展・向上していくためには、テレビに対する活発な批評活動が必要不可欠です。テレビ部門委員会はそのような批評の創造・発信拠点となることを目指します。

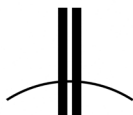
②テレビ部門委員会は、毎月、選考会を開いて月間賞を選びます。また年2回（上期・下期）、各社各局からエントリーを受け付け、応募番組の選考を行います。最終的に、月間賞と応募番組の中から、年間のギャラクシー賞（大賞、優秀賞、選奨、奨励賞、特別賞、個人賞など）を選びます。

③上記の選考の過程や結果を贈賞式および『GALAC』誌上で発表します。この他、受賞番組を紹介する活動の一環として、制作者をゲストに招いた番組上映・討論会なども積極的に開催します。

2) ラジオ部門委員会の運営

今期のラジオ委員会委員は4人が再任で7人が新任です。

ラジオの置かれている状況は相変わらず厳しいものがあります。しかし、第51回ギャラクシー賞の受賞作品を試聴すると作品として従来の作品と比較して決して劣るものではありません。制作意欲はむしろ高まっていると思えます。厳しいが故の斬新な企画や工夫やパーソナリティの発掘が見られます。したがって、これからの批評・選奨は今まで50年の間当会が守ってきた「豊かで優れた作品の創造」との批評基準と新しい社会環境の中で求めら



れるラジオ番組とはどんなものであるかという新しい基準を探り、全国の同じ思いの多くの制作者に応援と励ましと提案の場となることを目指します。当会の伝統的な活動を知る人たちと新しい視点からの批評をする新委員との活発な議論がされることに全力を尽くします。

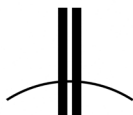
毎月1回全国のあらゆる番組から一番組を選び全員で合評をし、その合評内容を『GALAC』誌を通じてフィードバックします。制作者の心に届くような批評を目指します。同時に生ワイド番組の批評や「トピックス」としてのラジオ界の知っておきたいニュース、「PEOPLE」として、今、参考となる成果を挙げ活躍している人を紹介していきます。

ギャラクシー賞の選考は以前どおりです。当会の設立の趣旨を確認し、誰からも束縛を受けず自由に自立して選考するという先人の伝統を守り信頼される選考を目指します。

既に10年余の開催をしてきた「入賞作品を聴いて、語り合う会」は今年度も勿論開催します。最近では年一度となっていますが、大賞・優秀賞4作品を取り上げられるよう2回の開催を目指します。又、東京以外での開催も前向きに検討し実現にトライします。

3) CM部門委員会の運営

①広告の分野でテレビ広告費は依然として大きく、電通の調べによると昨年度のテレビ広告費は1兆7,913億円で四媒体の中で唯一前年度を上回り(100.9%)しました。さらにテレビCMの制作費は2,147億円で前年比107.9%となっています。一方、テレビCMの表現においてはシリーズ物やドラマタイズした作品が目立つようになり、見られる工夫、見せる工夫もなされてきています。CM委員会では、なお一層テレビ広告の役割を確認しつつ、クリエイティブ力のある作品、感銘をあたえる作品、時代をリードする作品を発掘していきたいと思っています。



②一昨年度からはじまった月1回の合評会は継続して行います。委員各々がリストアップした3本のテレビCMを多種多様にわたる視点から検討し、それをなお一層の充実をもって『GALAC』誌面に反映させていきます。

③昨年度のギャラクシー賞CM部門の応募数は減少しました。原因の究明と対策を検討し、応募増につながる方策を実施し成果が出るように努めます。

④シリーズ作品と長尺作品の応募が飛躍的に増加しています。日常目にする15秒や30秒のCMと、これら作品とのギャラクシー賞審査上に多少なりとも影響が出かかっています。CMの長尺、シリーズ本数など選考する上での条件／基準について検討をし、審査改善への道を探り、他の広告賞との違いを出していきたいと思っています。

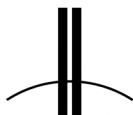
⑤今期は前期の約半数の委員が変わることになりますが、新体制になりましても五井前委員長時の明るく、楽しく、活気ある委員会運営を継続いたします。

4) 報道活動部門委員会の運営

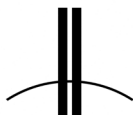
ギャラクシー賞報道活動部門は応募制を取っています。応募本数はこのところ微増傾向にあり、昨年度は上期・下期合わせて24本を数えました。NHK、民放キー局、民放ローカル局、衛星放送局、制作会社とさまざまですが、ラジオ局やケーブルテレビ局からは応募がありませんでした。各選奨委員の個人的なネットワークなどを通して、より多くの放送局やメディアに参加を促すよう努めたいと考えています。

選奨委員の改選に際しては、こうした報道活動部門の強化をめざして委員を1人増やし、12人としました。NHKや民放キー局・ローカル局の出身者、制作会社代表、記録映画監督、大学教授、放送担当の新聞記者、弁護士ら多彩な顔ぶれになります。

昨秋、6回目の「ギャラクシー受賞報道活動を見て、制作者と語る会」を日本大学芸術学部放送学科との共催で開きました。6本の入賞作のうち、大賞に輝いた南海放送の「太平洋核実験被害の

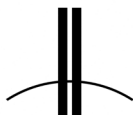


真実を伝える『放射線を浴びたX年後』映画自主上映を含む報道活動」の制作者ら3人をゲストに招き、一般参加者も交えてのトークを繰り広げました。今年も11月ごろ開催の予定ですが、どうしても客層が学生中心になりがちな大学での開催を見直し、別の場所での開催が可能かを検討するつもりです。



2014年度企画開催事業計画

1. 放送の今日的課題をめぐるシンポジウム、セミナー・研究会などを企画・立案・実施します。
2. 本年度の企画事業委員会は、以下の委員で構成します。
委員長 川喜田 尚
副委員長 桜井聖子
委員 入江たのし、堀木卓也、元橋圭哉、柳川素子
(ほか若干名交渉中)
3. ラジコプレミアム（エリアフリー化）の稼働、4K試験放送実施と2014年はラジオ、テレビともに新しい局面を迎えています。マルチデバイス化、タイムシフト視聴といった視聴スタイルの多様化による“放送コンテンツの拡散”とソーシャルメディアの活用や4K・8Kなど超高画質化などによる放送メディアのアイデンティティ強化はますます重要なテーマとなっています。また厳しい経営が続く地域民放局に活路をどう見出すのかなども引き続き共有すべき課題です。当委員会では、ジャーナリズム、放送文化、経営問題などを視野にいれ、シンポジウムやセミナーの企画を行います。実施規模や時期についても合わせて検討いたします。
4. 基本方針案は以下の通りと致します。
 - ① 当委員会の事業全体で黒字を目指す。
 - ② 他の委員会活動や月刊『GALAC』との連携を強化する。



2014年度マイベストTV賞

プロジェクト事業計画

1. 以下のメンバーで運営します。
プロジェクトリーダー 滝野俊一
メンバー 石橋さや夏 中平良磨 永田俊和
松山珠美
※若干名を追加予定
事務局 中島好登
2. Web会員の登録者を増やすべく、関連サイトへの広報活動を強化します。たとえば番組の掲示板やファンサイトなどを積極的に利用し、マイベストTV賞を認知してもらうべく草の根的な活動を行います。また、さらに大学生など若年層の会員を増やすべく、大学関係者へ働きかけます。
3. 第6回グランプリで投票協力を行ったYahoo! JAPAN/GyaO!との関係を強化し、認知度のアップに努めます。また、他のポータルサイトや番組関連のWebサイトとの協力も検討します。
4. ツイッターだけでなくフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用し、会員の募集活動や広報活動を積極的に行います。
5. スマートフォン対策としてマイベストTV賞“アプリ”の作成を検討します。
6. 第9回「マイベストTV賞グランプリ」を決定し、第52回ギャラクシー賞贈賞式で表彰します。また、2013年にも実施した特別番組のように、毎月の候補作品に漏れていたレギュラー番組などを選考の対象に入れる試みも引き続き実施します。

第六号議案

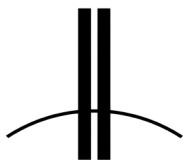
放送批評懇談会

2014 年度収支予算

2014年度予算案

2014年4月1日～2015年3月31日まで（単位：円）

科目	決算額	2014予算	摘要
I. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	2,257,604	2,850,000	正会員会費
維持会費収入	41,530,000	42,000,000	維持会員会費
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	32,580,812	30,300,000	参加料, 贈賞式会費
企画開催事業収入	1,535,000	2,500,000	シンポジウム参加料
3. その他の収入			
出版編集事業収入	4,812,026	4,800,000	GALAC販売
広告料収入	4,997,100	5,000,000	GALAC広告
4. 雑収入			
保険解約返戻金			
受取利息	15,410		
当期収入合計	87,727,952	87,450,000	前年比99.6%
II. 支出の部			
1. 事業費			
選奨費	6,258,763	6,600,000	選奨委員会, 審査会, 見る会聞く会
式典費	10,569,346	11,500,000	ギャラクシー賞贈賞式開催費
企画開催費	1,881,113	2,000,000	シンポジウム開催費
原稿料	6,835,698	7,000,000	GALAC原稿料
編集費	4,198,431	4,900,000	GALAC編集費
雑誌印刷費	16,794,912	17,300,000	GALAC印刷費
発送費	1,687,470	1,740,000	GALAC発送費
2. 管理費			
給料手当	13,495,900	14,400,000	職員給与
人件費	5,709,663	6,400,000	契約職員, 臨時職員経費
法定福利費	2,543,439	2,100,000	社会保険など
福利厚生費	228,308	220,000	作業従事者の夜間飲食費
旅費交通費	709,170	740,000	職員通勤定期・交通費, 役員交通費
通信費	868,632	880,000	郵便, 宅配便, 電話, ネット
資料費	831,403	850,000	スバイダー, 新聞, 雑誌, 書籍
会議費	266,859	280,000	理事会, プロジェクトの会議費用
水道光熱費	365,313	400,000	水道代, 電気代
事務用品費	129,319	110,000	事務用品, PC周辺機器
消耗品費	383,081	400,000	コピー機使用料, 日用品
備品費	456,249	500,000	テレビ, DVD, 音響機器, PC
諸印刷費	578,100	800,000	会員名簿, 封筒, 名刺など
広報費	683,555	1,000,000	ホームページ, データベース, 広報, 日韓中
支払手数料	223,116	210,000	振込手数料, 更新手数料
賃借料	3,915,339	4,100,000	事務所賃借, コピー機レンタル
保険料	511,440	500,000	職員保険（退職金補填）、火災保険
交際費	130,704	130,000	冠婚葬祭, 中元, 歳暮
雑費	762,275	1,000,000	税理士, 社会保険士
諸会費	115,644	150,000	友好団体加入による会費
租税公課	140,000	90,000	法人税, 事業税
退職給付引当金繰入	1,000,000	1,000,000	毎年100万円の積み立て
予備費		150,000	予備の予算
当期支出合計	82,273,242	87,450,000	前年比106%



NPO／特定非営利活動法人

放送批評懇談会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <http://www.houkon.jp/>